

3.12.1

国際連携推進室

室長（兼務） 中西悦子 ほか5名

国際連携の推進に向けた活動を支援

■概要

国際連携推進室は、安全保障輸出管理に関する業務、インターンシップ研修員の受入による国際的な人材交流、海外連携センターにおける情報発信・収集等を通じて、NICTが行う研究開発成果の国際展開を支援している。

■平成30年度の成果

1. 安全保障輸出管理関連業務

外国為替及び外国貿易法（外為法）に定められた「輸出者等遵守基準」に対応するため、NICTでは「安全保障輸出管理規程」に基づき、安全保障輸出管理に係る該非判定や取引審査の手続を行うとともに、必要なものについて経済産業大臣の輸出許可を取得した。

平成30年度は、平成27年度から開催している安全保障輸出管理審査会を引き続き定期的で開催し、MOU等で提供予定の技術及び締結相手先機関について審査し、締結の可否を確認した。

また、職員が安全保障輸出管理に関する理解を深め、NICTの輸出管理が確実に実施されるようにするため、説明会及びeラーニング等を通じた教育活動を行った。

2. インターンシップ研修員の受入

国際的な人事交流の一環として、平成30年度は、フランス、ミャンマー、米国、ベトナム、韓国、台湾、英国、中国、オランダ（受入順）の9か国（地域）12機関から15名のインターンシップ研修員を受け入れた（累計175名）。最近3年間の研修員の受入数の推移は図1のとおり。

3. 海外からの研究者の支援

国際的な人材交流を活性化するため、海外からの研究者の研究活動支援として、専門の日本語講師による日本語研修の実施や、職員への周知案内の英語化等を行った。

4. 海外連携センターの管理運営並びに情報発信・収集

NICTの国際展開を支援するためのハブとしての機能を発揮できるよう、各海外連携センター（アジア連携センター、北米連携センター、欧州連携センター）における事務所管理運営に必要な手続を支援した。

また、各海外連携センターでは、NICTの国際的なプレゼンスを高めるため、NICT内の各研究所等と連携しつつ、国際的な会議やフォーラムへの参加、NICT自ら

インターンシップ研修員の受入数

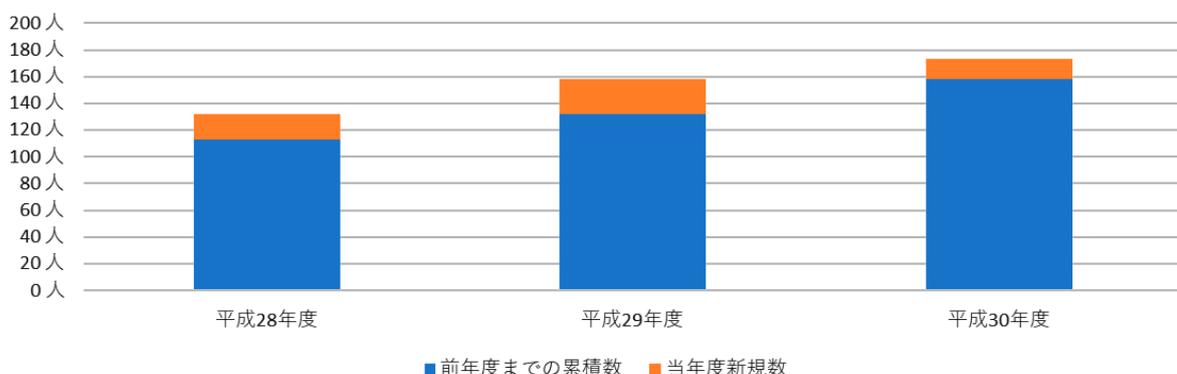


図1 インターンシップ研修員受入数の推移（累計）

による国際セミナーの開催や国際展示会への出展等を積極的に行った（図 2、3）。さらに、各地域における ICT 技術動向等に関する日常的な情報収集に加え、有識

者や専門家との人脈形成により、現地でしか入手できない貴重な情報の収集と分析を行い、これらを NICT 内での研究活動に活かせるよう速やかに提供した。



図2 宇宙天気ワークショップ“Space Weather as a Global Challenge”の開催（7月24日、米国・ワシントンDC）



図3 電気・オートメーション展示会「SPS IPC Drives 2018」における NICT 主催フォーラム「無線通信が切り拓くフレキシブルファクトリーの未来」の開催（11月29日、ドイツ・ニュルンベルク）